

教授のFMは 熱いコメント

NACK5出演中

埼玉を代表するFMラジオ局・NACK5(さいたま市大宮区)のバラエティー番組に聖学院大(上尾市)の教授大森達也さん(54)写真が出演している。堅苦しくなく、しかしコメントは真剣。局の人気番組の一つになっている。

大森さんは、「The Nutty Radio Show 鬼玉」内のコーナーで、隔週月曜

日に15分間出演している。番組集計のアンケート結果にコメントし、リスナーからの相談に回答する。番組集計のアンケート結果にコメントし、リスナーからの相談に回答する。番組集計のアンケート結果にコメントし、リスナーからの相談に回答する。

聖学院大 大森さん



大森です!」。低いがよく通る大声で第一声。先月15日の回では「センター試験前なのに勉強に手がつかない」というリスナーの相談に乗った。「成功すればベスト。でも失敗してもいい。僕もラジオで失敗ばかり。それを糧にその後どう頑張れるかが大事」大森さんは南カリフォルニア大学院で経済学の博士号を取得し、民間シ

ンクタンクに入社。同大の要請で90年、教員職に。週4コマ、経済学の授業などを担当する。普段の大森さんは落ち着いた話しぶり。ラジオでは一転して熱っぽく、冗舌になる。番組のキャパス紹介コーナーにたまたま出演した大森さんを同局の営業部長が見て「ラジオのキャラクターとして生きる」と番組担当のプロデューサーに売り込んだ。同局によると「鬼玉」の16~35歳リスナーの平均聴取率は0.4%(昨年4月調べ)。同時間帯の関東在局の他局の番組の中でトップクラスだ。大森さんは研究のため3月から半年間、海外に旅立つ。同局は国際電話を使ってコーナーを継続する方針という。(木村尚貴)